

公益社団法人 日本天文学会 代議員総会議事録

日時： 2025 年 1 月 14 日（火）16 時 00 分～18 時 35 分

場所： 日本天文学会事務所（オンライン開催）

出席代議員：赤堀 卓也、浅井 歩*、井岡 邦仁、石垣 美歩、石川 遼子、稲見 華恵、犬塚 修一郎、井上 剛志、井上 芳幸、井上 昭雄、江草 芙実、大向 一行、岡本 桜子、檜山 和己、川端 弘治、河野 孝太郎*、小林 千晶*、諏訪 雄大*、田中 雅臣、谷口 大輔、土居 守*、当真 賢二、富田 晃彦、富田 賢吾、富永 望、野村 英子、林 左絵子、藤井 通子*、藤井 友香*、細川 隆史、堀田 英之*、松本 浩典、望月 優子、百瀬 宗武、山岡 均、横山 央明、吉田 直紀

欠席代議員：高橋 慶太郎、長尾 透、山崎 典子、相川 祐理、市来 淨與、大朝 由美子、大須賀 健、深川 美里、山崎 了

委任状：9 通

出席理事：井田 茂会長、勝川 行雄庶務理事、町田 真美庶務理事*、鈴木 竜二会計理事、酒向 重行 会計理事（野村 英子副会長、百瀬 宗武副会長は代議員を兼任している。）

出席監事：松尾 宏、山田 亨

遅刻・途中退席の代議員（事前申告有）に*が記されている。また、佐藤事務長、黒岩事務長補佐、田口谷事務長補佐が出席した。

I. 確認事項など

I-1. 議事に先立ち、代議員総数 46 名のうち、開始時点での出席代議員が 36 名、委任状 9 通で定足数を満たし、本会が成立することが確認された。また定款に基づき、以下のとおり議長と署名人の確認がなされた。

議長：井田 茂

署名人：井田 茂

また、オンライン会議システムによる出席者の音声が即時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同じく適時的確な意見表明が互いにできる状態となっていることを確認した。

I-2. 前回議事録の確認

資料 2 に基づき、前回代議員総会（2024 年 9 月 12 日）の議事録が確認された。

II. 議題

公益社団法人日本天文学会の代議員総会に提出した議題は会長が作成し、各担当理事に詳細の説明を指示した。

II-1. 公益社団法人日本天文学会 2025 年度事業計画の承認（資料 1、勝川）

2025 年度(2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日)事業計画書が提示され、賛成多数で承認された。事業予定に資金調達及び設備投資の見込みはないことが確認された。

II-2. 公益社団法人日本天文学会 2025 年度予算の承認（資料 2、鈴木）

2025 年度(2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日)予算案が提示され、賛成多数で承認された。資金調達及び設備投資の見込みはないことが確認された。

II-3. 2024 年度各賞受賞者の決定

林忠四郎賞（資料 5、山本）

本年度の被推薦者 6 件・6 名、昨年の推薦の内、昨年の受賞者と今年度被推薦者の重複を除いた 3 件を加え、計 9 件・9 名の審査を行った。受賞候補者として井岡邦仁氏が推薦され、同氏の業績について説明がされた。これに対し、選考過程の説明資料がない点が指摘されたが、選考過程資料の添付は必須ではない旨が説明された。賛成多数で承認された。なお、審議に際して受賞候補者の井岡氏は一時退室頂いた。

欧文研究報告論文賞（資料 5、山本）

本年度は 3 編の応募があり、Kitaki et al. (2021)、および、Hirano et al. (2020) の 2 編が推薦され、それぞれの論文内容についての説明がされた。賛成多数で承認された。

研究奨励賞（資料 6、秋山）

16 件・16 名の推薦（自薦 1 件）があった。利害関係のある審査委員は審査から外し公平な審査を行った。その結果、Nugroho, Stevanus 氏、札本 佳伸氏、藤林 翔氏の 3 名が研究奨励賞の候補に推薦され、推薦理由について説明された。これに対し、代議員より推薦文の記載方法に関して複数の指摘がなされ、推薦文は確認可能な理由のみを記載したものに作成しなすことを条件に、賛成多数で承認された。

天体発見賞、天体発見功労賞、天文功労賞（資料 7、川端）

天体発見賞候補は 5 氏 12 件、天体発見功労賞は 5 氏 5 件の推薦理由が説明され、賛成多数で承認された。また、天文功労賞（長期）候補について推薦理由が説明され、賛成多数で承認された。天文功労賞（短期）は、本年度は受賞候補が無いことが報告された。

日本天文遺産（資料 8、松尾）

日本天文遺産として本年度は新たに 4 件が推薦された。これまで認定に至らなかった候補も合わせて 24 件についての検討を行った。本年度は委員会から 3 件を推薦し、推薦理由について説明され、賛成多数で承認された。

天文教育普及賞（資料 9、渡部）

本年度は新規推薦で 6 件、これまでの未受賞の候補も合わせて 24 件を対象に審査を行った。本年度は 3 件(1 団体、2 名)を委員会から推薦し、推薦理由について説明された。これに対して代議員より、「プラネタリウム 100 周年記念事業」を意識してプラネタリウムの関係者を推薦したか質問がされ、1 団体に関しては前年度も候補にあったが、2024 年度がプラネタリウム 100 周年記念事業に合わせる方が効果的であろうと、本年度の推薦にしたことが報告された。賛成多数で承認された。

II-4. 行動規範（Code of Conduct）案および、それに関する定款の一部改訂について

（資料 10、望月、勝川）

Code of Conduct／ハラスメント防止ガイドライン策定タスクフォース座長の望月氏より、代議員からの協力への感謝が述べられたうえで、行動規範導入の経緯及び、最終案の内容に関して説明があった。これに対し、代議員からは行動規範策定を推進したタスクフォースへの感謝が述べられた。活発な質疑応答があり、代議員から「相談窓口」は非常に重要だが、最終案でそこまで踏み込まない理由が問われた。これに対し、望月氏より、タスクフォースへの諮問事項に「相談窓口」の設置は含まれておらず、tennet アンケート調査で設置の要望が非常に多かった結果を

ふまえ、実務理事会、理事会、男女共同参画委員会、代議員総会で考えてほしいこと、「相談窓口」には複数の選択肢があると良いと思うこと等が回答された。井田会長より、「相談窓口」設定の議論を既に開始している旨、言及があった。質問者から「相談窓口」は非常に大切なので、引き続き、代議員に議論をお願いしたいとの応答があった。さらに、「相談窓口への相談者・通報者の保護」や、「行動規範への違反行為・疑問行為は通報すべき」といった文言を規範中に明記すべきではないか、との指摘があった。これに対し、望月氏より、タスクフォース内でかなり議論をし、特に学生やポストク世代にとって相談や通報をする「壁」はとて高く勇気も必要で、もし行動規範に書いてあるのに通報できなかった場合、「行動規範に通報せよと書いてあるのに、君はしなかった。たいしたことではないということ」など、加害者側に逆に悪用される懸念が若手世代から出たこと、「日本天文学会はそのような文言をすぐに入れられるほどまだ成熟していない」との結論に至ったことが説明された。あわせて、今後、学会内で行動規範の内容についての理解が進めば、制定 10 年などの節目の機会に、そういった文言を入れ込むことが視野に入ってくるだろうとの期待も述べられた。行動規範案、および定款の一部改訂に関して、賛成多数で承認された。

II-5. 「会長・副会長・理事・監事選考細則」の改訂（資料 14、勝川）

「会長・副会長・理事・監事選考細則」に関して、あいまいさを回避した形にするための細則の改訂が提案され、説明された。賛成多数で承認された。

III. 報告

III-1. 理事会(2024 年 12 月 26 日)の報告（資料無、勝川）

2024 年 12 月 26 日に行われた理事会に関して報告された。以下の個別報告事項に含まれていないものとして、林賞選考委員会の人数の変更のための内規の改訂、天文月報編集委員会からの提案、日本天文学白書委員会の増員、来期の各委員会委員長・委員、年会実行委員会からの報告、天文教育委員会からの報告、が行われた。

III-2. PASJ 編集委員会からの報告（資料 11、勝川）

海外編集委員に対する掲載料の減免制度、AI 学習を目的とした論文の二次利用に関する OUP 社からの提案、欧文研究報告論文賞の副賞をオープンアクセス掲載料免除に変更すること、掲載論文のフリーアクセス期間の変更、論文掲載料の半額化を来年度行うこと、オンライン校正システムの導入、に関して報告された。

III-3. 年会ハイブリッド開催タスクフォース報告(資料 12、野村)

関西学院大学での年会開催後のアンケート結果についての報告があった。固定開催地に関して議論を進めており、春の年会はこの 10 年の間に 7 回ほど関東地区で開催されていることから、春季年会を関東地区の固定地開催で検討していることが報告された。

III-4. 天文月報の記事を出版時から原則 WEB 公開とする件について(資料 13、勝川)

天文月報の記事を出版時からアクセス制限なく閲覧できるように変更することが報告された。

III-5. 選挙管理委員会からの報告(資料 14、勝川)

日本天文学会定款第 17 条および会長・副会長・理事・監事選考細則に則って会長選挙を行ったところ、被推薦者 1 名であったため投票は行わなかった。本件は既に天文月報で公表済みであることも報告された。

[資料リスト]

資料 1 代議員総会出欠席表

資料 2 公益社団法人日本天文学会代議員総会(2024 年 9 月 12 日開催)議事録(案)

資料 3 公益社団法人日本天文学会 2025 年度(2025 年 4 月 1 日 - 2026 年 3 月 31)事業計画書

資料 4 公益社団法人日本天文学会 2025 年度(2025 年 4 月 1 日 - 2026 年 3 月 31)収支予算書

資料 5 林忠四郎賞候補者推薦書、欧文研究報告論文賞推薦書

資料 6 2024 年度(第 36 回)日本天文学会研究奨励賞選考過程報告書、候補者推薦書

資料 7 2024 年度 日本天文学会天体発見賞・天体発見功労賞・天文功労賞候補者推薦書

資料 8 2024 年度(第 7 回)日本天文遺産選考経緯報告書、推薦書

資料 9 2024 年度日本天文学会天文教育普及賞 推薦経緯、推薦書

資料 10 日本天文学会行動規範(Code of Conduct)最終案の報告、日本天文学会定款の一部改定

資料 11 PASJ 委員会からの報告

資料 12 年会ハイブリッド開催タスクフォース報告

資料 13 理事会開催時の天文月報編集委員からの議題

資料 14 選挙管理委員会からの議題と報告

2025 年 1 月 14 日

議長・署名人： 井田 茂 印